

剣道日本一決定！男子は星子（東京都）が4年ぶり2回目、 女子は高橋（神奈川県）が7年ぶり3回目の栄冠！

～第73回全日本剣道選手権大会、第64回全日本女子剣道選手権大会 優勝者が決定～

公益財団法人全日本剣道連盟（会長：真砂威、東京都千代田区、以下 全剣連）は、11月3日（祝・月）に、剣道男女日本一を決定する「第73回全日本剣道選手権大会」および「第64回全日本女子剣道選手権大会」を、日本武道館で、コロナ禍以降最多となる約9,500人が見つめる中、盛大に開催いたしました。

激戦の末、男子は星子啓太選手（東京都、五段、27歳、警察官）が、第69回大会以来、2度目の頂点に立ち、栄えある天皇杯を、女子は、高橋萌子選手（神奈川県、錬士六段、32歳、警察官）が、第56、57回大会以来、3回目の優勝を果たし、皇后盃が授与されました。

両選手は、国内外の剣道界を牽引する存在として、今後さらなる活躍が期待されます。



大会プログラム（表紙）



第73回全日本剣道選手権大会優勝
星子選手（東京都）



第64回全日本女子剣道選手権大会優勝
高橋選手（神奈川県）

■ 大会結果サマリー

【第73回全日本剣道選手権大会】

優勝：星子 啓太（東京都）

第2位：國友 鍊太郎（福岡県）

第3位：村上 哲彦（愛媛県）、林田 匡平（長崎県）

優秀選手：黒川 雄大（神奈川県）、伊藤 勇太（埼玉県）、松崎 賢士郎（茨城県）、
佐々木 陽一朗（千葉県）、竹ノ内 佑也（東京都）、西村 英久（熊本県）

決勝：國友（福岡県） － メコ 星子（東京都）

準決勝：國友（福岡県） コ（一本勝）－ 村上（愛媛県）

林田（長崎県） メ－ コメ 星子（東京都）

【第64回全日本女子剣道選手権大会】

優勝：高橋 萌子（神奈川県）

第2位：大嶋 友莉亜（大阪府）

第3位：柿元 冴月（福岡県）、妹尾 舞香（福岡県）

優秀選手：関川 絢心（北海道）、橋本 陽菜（山口県）、竹中 美帆（茨城県）、
小川 梨々香（埼玉県）、佐藤 みのり（東京都）、岩原 千佳（徳島県）

決勝：高橋（神奈川県） メ（一本勝）－ 大嶋（大阪府）

準決勝：高橋（神奈川県） メ（一本勝）－ 柿元（福岡県）

妹尾（福岡県） － （一本勝）メ 大嶋（大阪府）



大会の様子

■ 剣道界の今後の展望と全剣連の取り組み

全剣連は、剣道の普及と振興に向けた取り組みを積極的に展開しています。

特に、来年開催の「第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会（<https://1aokc.jp/>）」、そして再来年の「第20回世界剣道選手権大会」（いずれも日本・東京開催）に向け、国際大会を盛り上げるための「剣道世界大会応援クラブ（<https://www.kendo.or.jp/information/20250127/>）」を展開中です。

また、国内外の剣道家をサポートし、剣道の未来を創造する「剣道未来プロジェクト（<https://www.kendo.or.jp/information/20250715/>）」も推進しており、今回の日本一決定を弾みに、さらなる剣道界の発展を目指してまいります。

世界を見据えた剣道界の今後の活動に、引き続きご注目ください。

■ 大会の概要

名 称	第73回全日本剣道選手権大会 / 第64回全日本女子剣道選手権大会
期 日	令和7年11月3日（祝・月）
会 場	日本武道館
主 催	公益財団法人全日本剣道連盟
主 管	一般財団法人東京都剣道連盟
後 援	（男 子）スポーツ庁、読売新聞社、公益財団法人日本武道館
 （女 子）スポーツ庁、毎日新聞社、公益財団法人日本武道館 |

■ 参考URL

【全日本剣道連盟】

<https://www.kendo.or.jp/>

【第73回 全日本剣道選手権大会】

<https://www.kendo.or.jp/competition/champ-73rd/>

【第64回 全日本女子剣道選手権大会】

<https://www.kendo.or.jp/competition/champ-joshi-64th/>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

全日本剣道連盟 情報広報部 矢野

Tel : 03-3211-5804

